

# グローバル社会における 特色ある研究拠点の創成を目指して



立命館グローバル・イノベーション研究機構 (R-GIRO) は、2008年の設立以来、「21世紀の持続可能で豊かな社会の構築」に向けて、自然科学と人文社会科学を総合した研究活動を展開し、その成果をアジアはもとより広く世界に発信しています。

今回のシンポジウムでは、基調講演に順天堂大学 学長特別補佐の木南英紀様をお招きし、「健康維持は死ぬまで自転車操業—タンパク質は壊されないと生きられない」と題し、オートファジーのメカニズムをわかりやすくお話しいただきます。引き続き、分科会におきましては、R-GIROが2013年度後期から3年間取り組んでまいりました異分野融合による4研究拠点（「環境」「スポーツ・健康」「平和・ガバナンス」「日本研究・地域研究」）から、4つのプロジェクトの研究成果報告を中心に、グローバル社会が直面する各分野の課題について議論したいと考えております。

皆様のご来場を心よりお待ちしております。

立命館大学長

立命館グローバル・イノベーション研究機構長 吉田 美喜夫

## Event Guide

### 立命館グローバル・イノベーション研究機構 (R-GIRO) 研究拠点成果報告シンポジウム グローバル社会における特色ある研究拠点の創成を目指して

**日時** 2017年2月24日(金) 13:00 ~ 17:15  
**会場** 立命館大学 びわこ・くさつキャンパス フォレストハウス 2階

#### ■ 第一部 <会場 F201 >

- 13:00 開会挨拶 立命館グローバル・イノベーション研究機構 機構長代理 村上 正紀
- 13:10 基調講演  
「健康維持は死ぬまで自転車操業—タンパク質は壊されないと生きられない」  
順天堂大学 学長特別補佐 木南 英紀 氏
- 14:00 各研究拠点の活動概要説明
- |              |        |       |
|--------------|--------|-------|
| 環境研究拠点       | 拠点リーダー | 中島 淳  |
| スポーツ・健康研究拠点  | 拠点リーダー | 伊坂 忠夫 |
| 平和・ガバナンス研究拠点 | 拠点リーダー | 本名 純  |
| 日本研究・地域研究拠点  | 拠点リーダー | 高橋 学  |
- 15:00 コーヒーブレイク

#### ■ 第二部

- 15:15 分科会 (2013年度採択 拠点形成型 R-GIRO 研究プログラム 最終成果報告会)  
< 各拠点のプログラム詳細は裏面をご覧ください >
- 【環境研究拠点】  
水再生循環によるアジアの水資源開発研究拠点 <会場> F202
- 【スポーツ・健康研究拠点】  
多世代交流型運動空間による健康増進研究拠点 <会場> F203
- 【平和・ガバナンス研究拠点】  
オール立命館による学際統合型平和研究拠点 <会場> F204
- 【日本研究・地域研究拠点】  
年縞を軸とした環太平洋文明研究拠点 <会場> F205

#### ■ 懇親会

- 17:30 懇親会 (会場: リンクススクエア 1階 カフェテリア、会費無料)  
閉会挨拶 立命館グローバル・イノベーション研究機構 副機構長 平岡 和久



#### 会場へのアクセス

#### 立命館大学びわこ・くさつキャンパス

滋賀県草津市野路東 1-1-1  
JR「南草津駅」下車 バス約20分

#### 【お申し込み方法】

参加ご希望の方は、氏名・所属を明記の上、E-mail または FAX にてお申し込みください。

#### 【お問い合わせ】

立命館大学 BKC リサーチオフィス  
R-GIRO 事務局 (担当: 勝山、吉田)  
Tel: 077-561-3412  
Fax: 077-561-3955  
E-mail: r-giro@st.ritsumei.ac.jp

※お申し込み多数の場合、会場定員 (200名) に達した時点で申込を締め切らせていただきますので、予めご了承ください。

# 分科会プログラム

水再生循環によるアジアの水資源開発研究拠点 (拠点リーダー：中島 淳・理工学部教授)

<会場> F202

15:15 若手研究者による研究成果の発表

16:35 若手メンバーによるパネルディスカッション

清水 聡行 (R-GIRO 専門研究員) 銭 学鵬 (立命館アジア太平洋大学准教授)  
土井 脩史 (R-GIRO 専門研究員) 吉川 直樹 (理工学部助教)  
モデレーター 近本 智行 (理工学部教授)

多世代交流型運動空間による健康増進研究拠点 (拠点リーダー：伊坂 忠夫・スポーツ健康科学部教授)

<会場> F203

15:15 グループリーダーと若手研究者による成果報告

塩澤 成弘 (スポーツ健康科学部准教授) 坂上 友介 (R-GIRO 専門研究員)  
西浦 敬信 (情報理工学部教授) 中山 雅人 (情報理工学部助教)  
善本 哲夫 (経営学部教授) 岡部 周平 (R-GIRO リサーチアシスタント)  
武田 史朗 (理工学部准教授) 山口 純 (R-GIRO 専門研究員)

16:50 総合討論

オール立命館による学際統合型平和研究拠点 (拠点リーダー：本名 純・国際関係学部教授)

<会場> F204

若手研究者による研究成果の発表とディスカッション

15:15 クロス 京子 (国際関係学部准教授) 佐々木 葉月 (R-GIRO 専門研究員)  
16:15 ベ・ヨンミ (R-GIRO 専門研究員) 森 類臣 (R-GIRO 専門研究員)

年縞を軸とした環太平洋文明研究拠点 (拠点リーダー：高橋 学・文学部教授)

<会場> F205

開会挨拶・司会 安田 喜憲 (立命館大学環太平洋文明研究センター長)

15:15 招待講演『自然現象としての地球温暖化』-どこまでのことが起こり得るのか-]

中川 毅 (立命館大学古気候学研究センター長)

15:45 拠点リーダーによる成果報告「環太平洋地域における地震と火山噴火 - 巨大地震は突然発生しない -」

高橋 学 (文学部教授)

16:15 若手研究員による研究成果の発表とディスカッション

神松 幸弘 (R-GIRO 専門研究員) 篠塚 良嗣 (R-GIRO 専門研究員)  
富田 敬大 (R-GIRO 専門研究員) 中村 大 (R-GIRO 専門研究員)

閉会挨拶 渡辺 公三 (学校法人立命館副総長)

## 会場案内

会場：フォレストハウス



路線	所要時間	備考
京阪 中書島駅	約35分	平日 中書島発15便 大学発14便 (学休日、土日祝は運行しません)
JR 大阪駅	約50分	JR
JR 京都駅	約20分	JR
JR・近鉄 奈良駅	約70分	(京都駅経由) 約70分
JR 三ノ宮駅	約70分	JR

直行便バス  
近江鉄道バス  
約20分  
「立命館大学行き」  
または  
立命館大学経由  
「飛鳥グリーンヒル行き」

立命館大学  
びわこ・くさつキャンパス

## お申し込み

立命館グローバル・イノベーション研究機構 (R-GIRO) 事務局行

E-mail [r-giro@st.ritsume.ac.jp](mailto:r-giro@st.ritsume.ac.jp) / FAX 077-561-3955

お名前	所属機関・職名 (学生は学年)	電話番号 メールアドレス

ご記入いただきました個人情報は、立命館大学 R-GIRO シンポジウムの運営管理に利用させていただきます。お申し込みいただいた方には、立命館大学 リサーチオフィスが開催するイベントに関するご案内を送付させていただくことがあります。但し、ご要請があればすみやかに中止いたします。